

## 2-3 認知症の経過の例

認知症の進行や症状の現れ方には個人差がありますが、少しずつ進行し、症状が変化していきます。家族や周囲が認知症を理解し、進行に合わせて上手に対応していくことが大切です。(下の表はあくまでも参考です。)



認知症の経過	認知症かもしれない ～認知症はあるが、日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は 自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子や 気かけたいこと の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 約束を忘れたり、物の置き忘れなど、物忘れが増える</li> <li>● 買い物や金銭管理などに不安を感じることもある</li> <li>● やる気がでない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時間や場所がわからなくなる</li> <li>● 同じことを繰り返し話したり聞いたりする</li> <li>● 薬や金銭の管理など、これまでできていたことにミスが目立つ</li> <li>● 規則正しい生活を続ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 度々、道に迷うことがある</li> <li>● 食事をしたことなど、ついさっきのことを忘れる</li> <li>● 服を着る、料理をするなど一人ですることが難しい</li> <li>● 症状に応じて、定期的な受診が必要になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご家族の顔や、使い慣れた道具が分からなくなる</li> <li>● 尿や便の失敗が増える</li> <li>● 表情が乏しく、言葉が減り、意思疎通が難しくなる</li> <li>● 日常生活全般にいつも介護が必要</li> <li>● 合併症を起こしやすくなる</li> <li>● 支援を受けることで、安定した生活を送ることができる</li> </ul>
家族の心構え	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域のサロン・カフェや玄さん元気教室など、集まりの場に参加して、出掛ける機会や、人との交流を続ける</li> <li>● 楽しみや趣味を続ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの生活の中で自分がしてきたことは、周りの力を借りながら続ける(野菜作りや、食事の用意、掃除など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご本人は認知症になっても、すべてのことが出来なくなるわけではない。ご本人の出来ることを続けられるよう、見守りながら助けいきましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ケアマネジャーと相談しながら、医療や介護との連携を取っていく</li> <li>● どのような最期を迎えるか、家族間でよく話しておきましょう</li> </ul>
相談・受診 サービス利用	<p>認知症相談センター(地域 包括支援センター)に相談</p> <p>介護保険申請、ケアマネジャーに相談、介護保険サービスの利用</p> <p>医療機関での受診</p>			
集まりの場	<p>サロン・カフェ、玄さん元気教室</p> <p>運動からだ元気塾、支え合い通所介護事業</p> <p>認知症カフェ、家族介護教室</p>			

同じ悩みを持つ人たちと話す事ができます。気持ちが楽になりますよ。

